



立川ひろとしの議会報告

平成23年10月10日
後援会報 44号
発行：立川ひろとし後援会



台風が猛威をふるいました！

後援会の皆様には、日ごろから立川ひろとしの活動に
対しましてご理解とご支援を頂きまして有難うございます。

3月には大きな震災がありましたが、9月には大きな台風が
猛威をふるい、各地で大きな被害をもたらしました。被害を
受けた皆様には心よりお見舞い申し上げます。

自然の猛威の原因のひとつに、私たち人間の環境破壊に起因するものも
あるかもしれません。自然との共存をあらためて考える時期に来ていると
感じておる今日この頃です。



9月定例会のポイントは？

今議会は、新市長の就任後間もないこともあり、例年に比べ1週間
遅い開会となりました。（会期：9/14～10/3）上程案件も補正予算の審議、
平成22年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の審査など、非常に
案件の少ない議会でした。

- ① 副市長の選任について
- ② 結城市公平委員会の委員の選任について
- ③ 教育予算の拡充を求める請願について
- ④ 早期の学校耐震化 及び 教育復興を求める請願について
- ⑤ 平成22年度 一般会計・特別会計・水道事業会計の審査

決算審査にあたっては、毎年、議員全員で構成する決算特別委員会を
設置し審査を行うのですが、私は副委員長に選任を頂きました。（※）
進行側として参画することから、質問が出来なかったことは残念でしたが、
質問を処理する側の視点が学べ、よい経験となりました。

※ 慣例で 委員長＝副議長、副委員長＝総務委員長 を選任している

9月議会 議会審議の中から

■ 結城市副市長の選任について

- ・空席となっていた結城市副市長に北畠 守（きたばたけ まもる）さんを選任することに同意。
（茨城県 企画部 つくば・ひたちなか整備局 つくば地域振興課 課長補佐）

■ 結城市公平委員会の委員の選任について

- ・結城市公平委員会の委員に山下文子（やました ふみこ）さんを選任することに同意。

■ 教育予算の拡充を求める請願について

- ・少人数学級の推進（30人以下学級）、義務教育費用の国庫負担制度の維持、国庫負担割合の1/2への復元（現在は1/3）、東日本大震災における教育復興のための予算措置を関係機関へ意見書として提出することを求める請願が採択された。

■ 早期の学校耐震化 及び 教育復興を求める請願について

- ・東日本大震災からの教育復興にあたり学校現場の意見を元に全力で取り組むこと、学校施設の耐震化を早急に行うことを求める請願が採択された。

※ 上記2つの請願については、請願者の関係者より依頼を頂きまして請願提出にあたり立川が紹介議員となりました。

※ 紹介議員とは「議会に請願を提出する際に必要な議員」のことです。請願は議員の紹介という形で議会に提出されます。

郵送・駅での配布・ポスティングなど様々な方法で配布しています。同じものが届きましたらご容赦願います。

①

■ 平成 2 2 年度の決算 及び 財務諸表

①各決算の内容

会 計 名			歳入(千円)	歳出(千円)	収支(千円)
一般会計			17, 519, 481	16, 878, 541	641, 030
特 別 会 計	国民健康保険		5, 851, 262	5, 765, 057	86, 205
	老人保険		11, 031	11, 031	0
	後期高齢者医療		359, 510	358, 677	833
	介護 保険	介護保険事業	2, 353, 476	2, 351, 548	1, 928
		介護サービス事業	11, 156	11, 097	59
	公共用地先行取得事業		137, 967	137, 967	0
	区画整理・南部第一		31, 624	31, 124	500
	区画整理・南部第二		346, 963	346, 463	500
	区画整理・南部第三		211, 496	210, 094	1, 402
	区画整理・南部第四		203, 399	194, 879	8, 520
	公共下水道		1, 403, 421	1, 402, 421	1, 000
	農業集落排水		94, 955	94, 952	3
	住宅資金等貸付		7, 928	7, 927	1
水道事業		収益的収支	1, 090, 774	1, 015, 822	74, 892
		資本的収支	218, 400	532, 304	▲313, 904

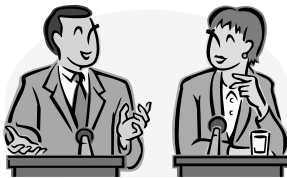
- ※ 1 各数値は平成 2 2 年度 結城市決算審査意見書より抜粋
- ※ 2 水道事業会計の資本的収支は、拡張事業、石綿セメント管 更新事業、企業債返還など必要性の高い事業を実施するため歳入に比べて歳出が大きくなっており、その不足を内部留保資金（当年度分 消費税資本的収支調整額、過年度分 損益勘定留保資金）より補填している

② 各種財務諸表（※（）内は、黒字比率をマイナスとして算出したもの）

項 目 名	国の基準（％）		平成 2 2 年度 結城市（％）	平成 2 1 年度 結城市（％）
	経営健全化基準	財政再生基準		
実質赤字比率	13.26	20.00	－（－ 5.82）	－（－ 6.22）
連結実質赤字比率	18.26	35.00	－（－18.72）	－（－19.15）
実質公債費比率	25.0	35.0	15.1	16.1
将来負担比率	350.0	－	99.7	111.5

～コラム～ 選挙における政策の類似性を考える

大きな選挙において、一方の候補者の政策が、もう一方の候補者の政策ときわめて似てしまう、これは起きることだと思います。



もちろん、良いことを取り入れる行為に異論はありませんが、問題は「候補者が取り入れた政策をしっかりと自分のものとして認識しているかどうか」にあると思っています。

本来、政策というものは、候補者本人が自分の持論から導き出すことが一番ですが、候補者は多くの市民の皆さんの声から政策を組み立てることもあります。また、前述のように、よい政策を「真似をする」こともあります。その過程の中で、その方々の声を聞き、自分はどうか考えるか、プロセスは、財源は、と、自分の中で噛み砕いて消化して政策としなければ、ただの受け売りになってしまいます。人気取りや総花的な公約になってしまいます。

大きな選挙の政策の類似性を見極めるのは、候補者の話を聞いてみるのが一番であり、公開討論会のような機会があれば、候補者間で類似した政策になっていたとしても、考えを聞き比べ、どちらの考え方がしっかりしているか、おのずと見えてくると思います。

今回の結城市長選挙においても、公開討論会の開催を熱望しておりましたが、開催に至らなかった事は残念であり、開かれた選挙の観点からも大きな後退となったのではと感じております。

もちろん、規模は違えど、私も自分の考えを述べて票を頂く立場として、政策は持論をもとに組み立てておりますが、広くたくさんの方々から意見を頂く機会をつくり、自分の中で消化し、今以上に皆さんの声を自分の言葉でうったえていく事が今後の課題です。

持論であれ、頂いた考え方であれ、自分の言葉で語ることが先々、自分の政策と全く類似した政策を持つ方と戦うことになっても、皆さんから強く理解を頂けると考えておりますし、実現性のある政策策定の近道でもあると信じております。

たちかわひろとしの一般質問 ダイジェスト！

1. 合併問題について

市長選挙において、候補者から具体的な市町村名を挙げて合併に関する発言があったことから、これまでの市の合併に関する分析や議論の経緯と市長の合併問題に対する考え方を伺いました。

- 【質問】**
- 
- ① 平成15年12月議会における執行部の「当面合併しない単独での運営」を表明して以降の庁内での合併議論について
 - ② 合併特例法の終了以降、上位機関（国・県）からの指導や情報提供などの状況について
 - ③ 市長所見を伺いたい

【答弁：市長公室長】

- 
- ① これまで事務的に情報収集は行ったが、庁内で本格的な議論は行っていない。
 - ② 総務省は、平成の合併推進から10年が経過し相当数の市町村合併が進んだことから、平成22年3月に平成の合併の報告書を公表した。報告書によると、合併の本来の効果が現れるまで10年程度の時間が必要と考えるが、住民や世論の合併への評価は大きく分かれている。
今後の合併に対する考え方としては、平成22年度で合併は一区切り、平成22年4月以降、自主的に合併を選択する市町村に円滑化のための特例は用意するとしているものの、旧法にみられる手厚い財政支援は望めない。

【答弁：市長】

- ③ 本市は財政的に余裕のある運営ではないが、合併で全てが解決するものでもなく、今後、社会経済情勢を見極め、以前にも増して慎重に考え対応していくべき課題と考えている。
新たに合併について考える場合は周辺市町については可能性があると考えられるが、私(市長)の考えとして、特定の自治体の名称を言及したことはない。

2. 庁舎問題について

分庁舎整備事業の流れの中で、結城市の街づくりをしっかりと議論し、庁舎のあり方を明確化することが、安易なハコモノ購入&庁舎の分散化を防ぐという観点から、議論の必要性をうたえました。また、市長選挙の中で庁舎建設費用の話題も出たので、確認を行いました。

- 【質問】**
- 
- ① （分庁舎整備～総合計画策定の作業の間で）庁内における庁舎に関する議論の経過や整理事項について説明願いたい
 - ② 市長選挙の最中に、庁舎建設費用63億円という数値を耳にしたが、庁内で具体的に試算した経過はあるか
 - ③ 庁舎に対する（あり方・建設の是非）市長の所見を伺いたい

【答弁：市長公室長】

- 
- ① 平成22年度に、庁内の関係課長で構成される結城市庁舎検討委員会が設置され、5回の会議を開いて報告書をまとめた経緯がある。

主な内容として、現在の庁舎の現状、現庁舎の課題、今後の行政需要、事例研究、庁舎に求められる機能であり、現庁舎の老朽化や分散化など課題も多いことから庁舎のあるべき姿がどのようなものかを検討した。

- ② これまでに建設費用を試算したことはない。

【答弁：市長】

- ③ 現在の庁舎の狭あい化、それにとまなう分散化、あらたな行政需要の増大、建設財源の確保、他の事業との優先度など、乗り越えなければならない数多くの課題があると認識している。また、今回のような大震災の災害時には、防災対策本部としての危機管理機能を果たさなければならない。

第5次結城市総合計画の中で「市民にとって便利な市庁舎のあり方を検討する」としており、これに沿って、様々な観点から十分調査、研究、検討を重ね財政状況に十分配慮しながら、議会や市民の意見を幅広く慎重に判断したい。

3. 施設の復旧状況について

東日本大震災が発生してから約半年が経過した中で、被災した施設の復旧状況と、復旧費用の確保の必要性の観点から財源見通しについて質問を行いました。

【質問】



- ① 現在の市内施設（含：教育施設）の復旧状況と見通しについて報告願いたい
- ② 財政調整基金から取り崩して対応を行っているが、国や県からの復旧費用が確保できるか、見通しを伺いたい

【答弁：教育次長】

- ① 城西小学校 体育館 … 9月中に復旧工事完了予定。
結城東中学校 体育館 … 9月中に復旧工事完了予定。
結城南中学校 体育館 … 屋根の全面改造による復旧を決定。
復旧工事完了は平成24年度内の見込み
鹿窪総合体育館 … 工期は11/15であるが、10月中に工事完了の見込みで11月貸し出し開始に向けて対応。



※答弁の中から、対応未完の施設について抜粋して掲載

【答弁：市長公室長】

- ② 公立の学校施設は災害復旧対象事業の2/3が国庫補助で認められる見込み。結城小学校、結城西小学校、城西小学校、絹川小学校、結城中学校、結城東中学校の6校分は国の査定が終了し、事業費5725万5000円に対し2/3の3816万8000円の国庫補助が認められている。結城南中学校 体育館は実施設計中のため、設計終了後、災害復旧費の国の査定を受ける予定。

社会教育施設（市民文化センターアクロス・情報センター）、社会体育施設（鹿窪総合体育館・第2体育館・武道館）は国の補助制度が無いので東日本大震災下の災害復旧事業債を起こして資金手当てをする見込み。この起債は後年度において財政力に応じて元利償還金が交付税措置される見込み。

立川ひろとし後援会 議会報告会 開催時期 変更のお知らせ

例年11月に「立川ひろとしの議会報告会」を開催しておりますが、今年度は11月に所属会派「結政会」主催の議会報告会を予定していますので、私の報告会の時期を2月ごろにずらす方向で検討しております。開催日時が決定しましたら、本誌にて報告しますので、よろしくお願いします。（次号にて掲載予定）
また、会派主催の議会報告会の日程や会場については、後日発行する会派の議会報告（折込チラシにて配布）に掲載を予定しております。



平成23年 結城市議会 第4回 定例会 日程（案）のお知らせ

12月7日（水）	本会議（開会）	12月12日（月）	総務委員会
12月8日（木）	一般質問	12月13日（火）	産業・建設委員会
12月9日（金）	一般質問	12月14日（水）	教育・福祉委員会
		12月19日（火）	本会議（閉会）

※あくまで案であり、変更となる場合もあります

編集後記



いつも本誌をご愛読頂きありがとうございます。
これまでのカワイ雰囲気の本誌をやわらかく
仕上げてようと、新しい試みで所々書体を変えてみましたが
如何でしょうか？ 本誌を、どうしたら親しみやすく読んで頂けるか、
目に留めて頂けるか、日々考え、進化させて行きたいと考えております
ので、皆さんのご意見を頂けましたら幸いです。
また、皆さんのご近所、お知り合いの方で、本誌をご賢になりたい方が
おられましたら、是非ご一報下さい。次号から郵送させていただきます。